

障害者差別の禁止を考える

2022年10月27日（木）
午後2時～3時40分、ハートピア京都

世界人権問題研究センター

川島 聡
岡山理科大学経営学部
(絵： たなか慶)

今日のポイント

1. 障害者差別解消法の基本的視点 → **社会モデル**
2. 差別の概念：合理的配慮と不当な差別的取扱い
 - 2-1. いくつかの例
 - 2-2. 不当な差別的取扱いの正体 → **直接差別**
 - 2-3. 合理的配慮のポイント → **7つの要素**
3. 確認問題

プロフィール

川島 聡（かわしま さとし） 岡山理科大学経営学部教授

新潟大学大学院修了（2005年）。博士（法学）。東京大学大学院経済学研究科特任研究員、ハーバード・ロースクール客員研究員などを経て現職。内閣府障がい者制度改革推進会議（障害者政策委員会）差別禁止部会構成員（2010年-2012年）。日本学生支援機構「障害者差別解消法」施行に伴う障害学生に関する紛争の防止・解決等事例集作成協力者会議」議長、日本障害法学会理事・事務局長、障害学会理事、国際人権法学会理事、全国障害学生支援協議会理事、岡山県人権政策審議会副会長、岡山市バリアフリー推進協議会委員など。

研究分野は国際人権法、障害法。著書に『国際人権法の考え方』（共著、法律文化社、2021年）、『障害者権利条約の実施』（共編著、信山社、2018年）、『合理的配慮』（共著、有斐閣、2016年）、『障害法』（共編著、成文堂、2015年、第2版2021年）、『障害学のリハビリテーション』（共編著、生活書院、2013年）、『障害者の権利条約と日本』（共編著、生活書院、2008年、増補改訂版2012年）、Creating a society for all（共編著、Disability Press、2012年）、『障害を問い直す』（共編著、東洋経済新報社、2011年）、『概説 障害者権利条約』（共編、法律文化社、2010年）、『障害者の権利条約』（共編、明石書店、2004年）など。